仕様書

1.件名

被ばく関連情報管理システムのサービス機能及び認証機能の向上

An Enhancement of the Service and Authentication Function on the Exposure Information Management System

2.数量

1式

3.目的

現在、放射線医学総合研究所において、放射線被ばく情報の管理を目的とした情報システムを構築し、研究者や復旧作業員等を対象としたサービスの提供を行うことを目指している。

2011 年 3 月に発生した東日本大震災による津波のため引き起こされた東京電力福島第一原子力発電所の事故は現在も多数の作業員による復旧作業が継続している。一方、作業員らが復旧作業等に伴って受けている低線量放射線への健康影響については科学的知見が十分でなく、健康管理のためのフォローアップシステムの整備が急務である。そこで当研究所では、東京電力福島第一原子力発電所事故の復旧作業員等を対象として、作業中に受けた被ばく線量やその後の健康状況などの関連解析・評価体制を整備し、復旧作業員等の中長期期間にわたる健康管理に役立てることを目的としたフォローアップシステムをはじめとした放射線被ばく情報管理システムを構築する。

これらのシステムで扱う被ばく関連データは個人情報を含むため取り扱いに際し細心の注意を要し、強固なセキュリティやアクセスコントロール、監査証跡機能などを装備したシステム上で取り扱わなければならない。一方、利用者が当該システムにアクセスする際には操作性などに十分配慮する必要があり、昨年度の調達においてそのような要求に応えうるインフラ基盤を整備した（図１）。

本調達では、昨年度調達したインフラ基盤上に複数の被ばく関連情報管理サービスを構築し、被ばく関連情報管理システムとして利用するための機能向上及びサービスの構築を行う。

４. 仕様・性能

１）全体

(1) 導入・設置する機器、データベースや OS などは、一般的なものを使用すること。

(2) 本調達のために作成したプログラムは、受注者の著作権を侵害しないことを条件に、取扱説明書及び詳細設計書、ソースコードを納入すること。また、当研究所は必要に応じてこれらを公開する権利を有すること。

(3) 複数のベンダが協調して本システムを構築することも可能である。本機能を実現するために複数のベンダが連携して構築する場合は、保守などの窓口は１社が責任を持って担当すること。また、窓口の応対や書類の提出は日本語で行うこと。通訳や翻訳などに費用を要する場合には受注者が負担すること。

(4) システムの詳細仕様項目については、担当者（被ばく医療部門、医療情報室、情報基盤部、医師、研究者など）と打ち合わせを行い、決定すること。

(5) ハードウエア及びソフトウエアの基本的要件及び詳細仕様については、添付書類 A「被ばく関連情報管理システム詳細仕様書」に記載されている仕様を全て満たすこと。仕様については、本仕様書と詳細仕様書は相補関係にあるので、両方の仕様書を満たすこと。

(6) 本件契約書を、本仕様書及び詳細仕様書に従って履行するために必要な経費はすべて本契約に含むものとする。但し、電力料金及びやむを得ず利用する回線使用料金についてはこの限りではない。既存の他契約者との間でシステム試験調整等に費用を要する場合には、受注者が負担すること。例外事項については本仕様書及び詳細仕様に記載する。

(7) 既存インフラの物理構成概要を図１に、全体構成概要を図２に示す。

(8) 長期にわたる情報管理・利用のための発展性が十分に考慮されていること。

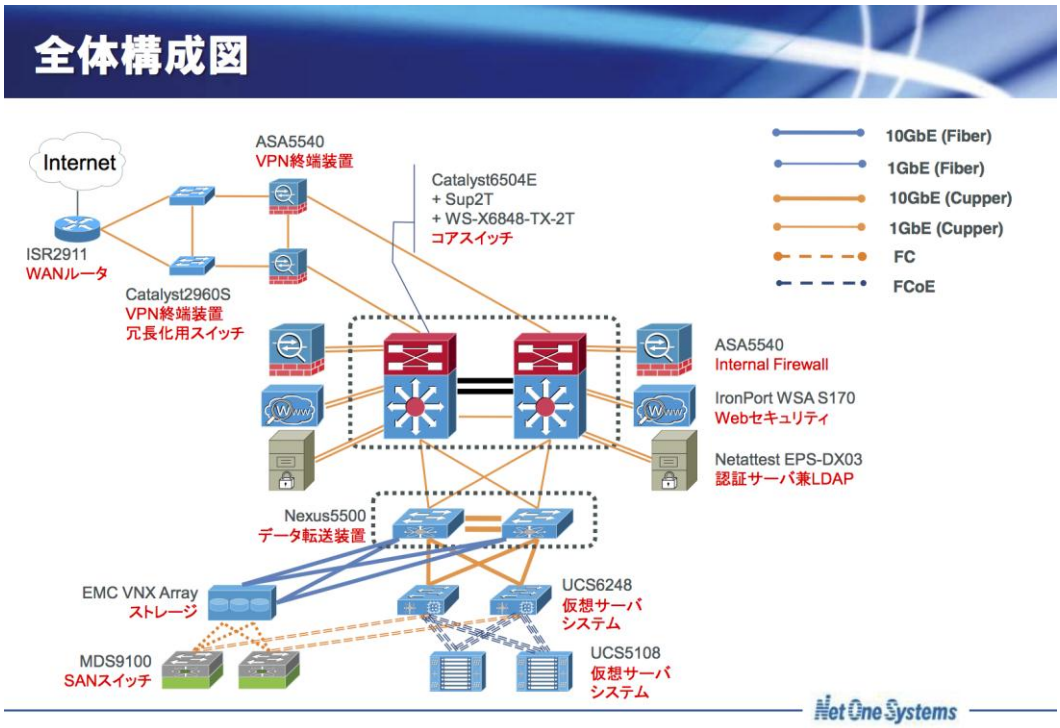

図１．　物理構成概略図

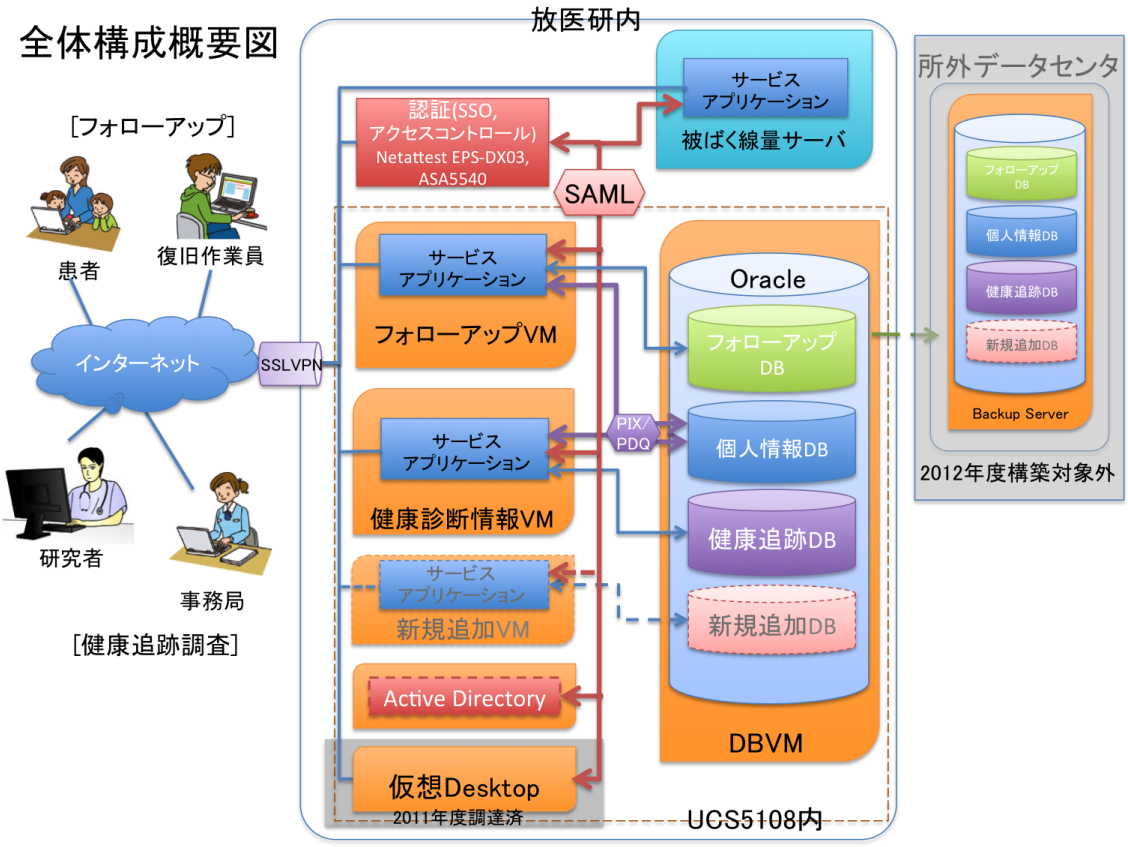

図２.全体構成概要図

２）機能想定

① サービス

本調達においては、既存の基盤インフラ上で「復旧作業員等健康診断情報システム」「被ばくネットワーク情報システム」「フォローアップ情報システム」の少なくとも３つあるいはそれ以上のサービスを運用するための各種開発、設定および移設を行う。

② 利用者想定

本システム利用者は以下を想定している。

No	利用者	人数	備考
1	システム管理者	1 名	
2	放医研職員	10 名	初年度は数人規模
3	他医療機関職員	200 名	初年度は数 10 人規模
4	対象者 A	500 名	初年度は数 10 人規模
5	対象者 B	100,000 名	初年度は数 1000 人規模

本システム利用者が利用できるサービスは下記のように分類される。

No	利用者種別	(1)	(2)	(3)	備考
1	システム管理者	◎	◎	◎	放医研職員
2	研究者A	○	－	－	放医研職員、他医療機関・関係省庁
3	研究者B	－	○	－	放医研職員、他医療機関・関係省庁
4	研究者C	－	－	○	放医研職員、他医療機関・関係省庁
5	関係機関A	○	－	－	放医研職員、他医療機関・関係省庁
6	関係機関B	－	○	－	放医研職員、他医療機関・関係省庁
7	関係機関C	－	－	○	放医研職員、他医療機関・関係省庁
8	対象者A	○	－	－	復旧作業員
9	対象者B	－	○	－	復旧作業員
10	対象者C	－	－	○	復旧作業員

・◎:管理者、○:利用者、－:権限設定により可否を設定できる利用者を示す

・利用者は利用可能なサービス区分を設定する

・サービス区分は以下の情報管理システムを想定している。

(1) 復旧作業員等健康診断情報システム

(2) 被ばくネットワークシステム

(3) フォローアップ情報システム

利用者は上表のサービスごとの閲覧権限の他、登録･更新権限の区分を設ける。

③　入力想定項目

入力項目については下記を想定しているが、変更の可能性もあるので導入時には放医研担当者と打ち合わせの上決定すること。

- 復旧作業員等健康診断情報システムの入力想定項目については添付資料 B「作業員等健康診断情報項目」を参照すること。
- フォローアップシステムの入力想定項目に付いては、添付資料 C「フォローアップシステム入力項目」を参照すること。

2）基盤インフラ

(1) 詳細仕様、実現すべき機能については、添付書類 A「被ばく関連情報管理システム詳細仕様書」を参照のこと。

(2) 既存インフラ（図１、ネットワンシステムズ社担当）上に本仕様書及び仕様詳細書に従って履行するために必要な調整などは本件契約者が既存契約者との間で行うこと。本調整に必要な費用は本調達に含むこと。

(3) 既存の基盤インフラ改修にかかる費用、追加で調達するハードウエア、設置、設定、運用サポート（４）保守・運用に詳細を記載）にかかる費用は本調達に含むこと。

(4) 既存のインフラ基盤に外部接続ネットワーク（インターネット）から VPN を利用して外部からアクセスを実現すること。

(5) 基盤インフラ上のサービスを利用するユーザは VPN 接続時の認証によりシングルサインオンで各サービスにログインできること。シングルサインオンは SAML2.0 で各サービスと連携して実現すること。SAML1.0 の混在も可能だが、SAML2.0 のサービスと情報交換をするための変換機能を用意すること。

(6) 外部から接続する際にポータルページは用意せず、VPN のユーザ認証によって認可されている適切なサービスに直接アクセスできるようにすること。本調達においてはユーザは認可された一つのサービスを利用できればよいが、将来的に健康追跡調査の対象者が複

数サービスをまたがって利用する可能性はあるので､そのための拡張性を持たせておくこと。

(7) 複数のサービスが独立して動作し､既存のデータベースサーバー上においても互いに干渉することがないようにすること。

(8) データベースに登録されたデータを DDL 文・SQL 文の出力ファイルや CSV 等の標準的な形式でエクスポートできる機能をもたせること。

(9) ユーザが認可されたサービス以外にアクセスできないようにすること。

(10) ユーザ管理は複数のサービスに対して一元して管理を行えるようにすること。

(11) ユーザ管理機能として、ユーザの管理を行う画面を用意し、ユーザの追加、削除、権限管理が行えること。

(12) ユーザの権限によってアクセス可能なサービスや機能を制限することができること。

(13) ログイン日時、操作履歴などについてのログを指定した場所にファイルとして取得できること。

(14) ユーザの名前や所属、住所など個人情報の変更に対応できること。システム上の情報は上書き更新せず､変更後の個人情報を個人に追加で紐づけて一連性を持った管理を行えること。

(15) 既存インフラではウイルス対策などがなされていないため、インフラ基盤及び各サービス及びデータベースを運用するサーバーにはセキュリティ対策､脆弱性対策､ウイルス対策が施されていること｡仮想マシン其々でウイルスチェックを行うなど負荷が集中することを避けるため､各仮想マシンのゲスト OS にエージェント型セキュリティ対策ソフトウエアをインストールすることなく､既存の VMWare ハイパーバイザに導入し、包括的に対策が行えるものが望ましい。

(16) 各サービスのデータベース及びシステムのバックアップを行えること。バックアップは既に導入されている VMWare Data Recovery を利用して毎日ローカルで行うこと。バックアップの範囲については当研究所担当者と調整の上決定すること。

(17) 外部ネットワークからの接続試験に使用するモバイル通信端末および接続費用は本調達に含めるものとする。モバイル通信端末は、一般的なノートパソコン及び本調達に含まれるタブレット型端末から一般的な無線通信規格でネットワーク接続でき、十分高速にインターネットに接続できること。

(18) 各サービスに連結可能匿名化の機能を持たせること。

(19) 連結可能匿名化及び名寄せ機能について、IHE PIX/PDQ に準拠すること。

(20) 機関ごとのみならず、同一機関においても提供機会ごとにデータの提供形式が変わる可能性が十分考えられるため、それらの提供データ形式に柔軟に対応した入力を行えること。

(21) 協力機関から提供された原本を電子媒体として保管できる仕組みを有すること。紙媒体で提供された場合には PDF など標準的なフォーマットで電子化して保存すること。紙媒体を電子的に取り込む装置の調達については本調達の範囲とする。

(22) 長期にわたる情報収集のため、データ項目の表記や内容が制度や政令、その他の事情によって変わる可能性を考慮し、項目のデータ化ルールを当研究所担当者と協議の上実施し、矛盾なく表示できる機能を有すること。

(23) 管理項目の変動の可能性を十分に考慮し、調査項目や情報提供項目が変更・増加しても柔軟に対応できること。

3）サービス機能

(1) 詳細仕様、実現すべき機能については、添付書類 A「被ばく関連情報管理システム詳細仕様書」を参照のこと。

(2) 各サービスは既存インフラ基盤内の仮想サーバシステム（UCS5108）（図１）上に構築されている VMWareESXi 仮想環境上に仮想マシンとして実装されていること。

(3) シングルサインオン実現のため各サービスは SAML による認証機能を有し、既存インフラ上で SAML 連携による認証が行えること。

(4) ユーザ管理機能

・ユーザ管理を行う画面を用意し、権限管理が行えること。

・ユーザの権限によって、扱える情報や機能を制限することができること。

・誰がいつ何を行ったかのログをとれること。

(5) データ登録機能

・提供機関によって提供される形式が異なるため、紙媒体で提供される場合の入力用画面と、電子媒体で提供される場合に効率よくデータを登録できる機能を有すること。

・提供機関によって提供される項目やその順番が違うため、入力のしやすさに十分に配慮された入力フォームがあること。提供機関が増える可能性もあるため、項目の順番などを柔軟に変更してフォーマットとして保存可能な仕組みがあることが望ましい。

・提供機関によって数の表現や単位などにばらつきがあるため、自動で変換する機能を有すること。

・ヒューマンエラーを減らすための入力値チェック機能を有すること。

・項目の値が提供機関から得られていないのか、入力していないのかの区別が行えること。

・データの変更については、上書きや古い情報を削除せず、新しい情報を追加して参照して、変更履歴が辿れるようにすること。

(6) データ参照機能＜研究者＞

・本システムに登録した情報を SAS(SAS Institute)を用いて統計処理を行えるよう、SAS で読み込める形式で情報を出力できること。項目の順番は変更可能とすることが望ましい。

(7) データ参照機能＜対象者＞

・対象者アカウントでログインした際に、本人のデータを参照するページを備えること。

・本人のデータ参照ページで検査や検診の結果をグラフ等で推移を確認できるようにすることが望ましい。

(8) データ参照機能＜関係機関＞

・各関係機関向けお知らせ機能を備えていること。

・その関係機関に所属する対象者のデータを参照できるようにすること。

・ニュースレター機能を備えていること。システム上でテンプレート

ファイルを流し込んで作成できるような機能を有していることが望ましい。

(9) SQL 言語によって直接データベースにアクセスできるインターフェースを用意すること。

(10) データ入力、閲覧機能は PC からブラウザでアクセス可能とし、対応するブラウザは InternetExplorer の最新バージョンを含むこと。タブレット型端末からは WebKit エンジンを用いた標準ブラウザから閲覧が可能なこと。

(11) タブレット端末からのアクセスについては、契約締結時におけるタブレット型端末によるインターネット上のウェブトラフィックの 50%以上を占めるプラットフォームのタブレット端末からアクセスできること。また試験のために使用するタブレット端末２台及び研究者が使用する端末２台も本調達に含むものとする。試験用タブレット端末は２）(17)のモバイル端末に Wi-Fi で接続して外部ネットワークから本システムへ通信を行えること。

(12) (11)で示すタブレット端末のモニタの品質管理が行えること。

(13) 当研究所が開発している既存の被ばくネットワーク情報システム（ケアストリームヘルス社担当）をサービスとして提供できるように設定を行い、本基盤インフラに移設すること。移設にあたっては担当社と調整の上おこなうこと。移設にあたって必要な改修、設定等の費用は本調達に含まれるものとする。

(14) 当研究所が平成２３年度に調達し、導入しているビジネスインテリジェンスツール eThority を利用可能にすること。

(15) 当研究所担当者が新たに仮想マシンを構築し、サービスを立ち上げる可能性が大いにあり得るため、サービスや SAML の連携に必要なソフトウエアモジュールや構築・設定時に必要となる情報をまとめた手順書など、当研究所担当者が構築を滞りなく行えるような情報を提供すること。

４）保守・運用

(1) 導入後保守費用について、納品物のすべてについて平成 26 年３月までの保守費用を本調達に含むものとする。

(2) 納品ソフトウエア障害発生時における障害原因調査及びバグ修正作業を行い、問題発生日から２ケ月以内に対応すること。なお、オンサイトでの作業が必要な場合には、現地に作業員を派遣すること。また、オンサイト業務を行うに当たっては、保守期間内に 37.5 時間までの作業については、当該保守に含めること。
なお、累積時間の管理、障害報告内容については当研究所担当者に報告・確認すること。

(3) ネットワーク調整会合の参加：当研究所がネットワーク上のシステムの適正な運用を維持するために毎週１回開催しているネットワーク調整会合に少なくとも月１回（原則として第１月曜日）、必要な場合にはその都度出席すること。調整会合への参加が困難な場合は、事前に担当者へ報告をおこなうこと。出席のためにかかる費用は、本契約に含めること。

(4) 定期オンサイトメンテナンス業務
平成２６年２月に現地でメンテナンス作業を行うこと。その際、作業内容に関する報告書を作成し、当研究所担当者へ提出すること。
定期メンテナンス業務は、以下のとおり。
a)LED 等、外部から目視でハードウエア状態確認。
b)納入ハードウエアエラーログ、ログ確認。
c)納入ハードウエアのディスク使用量確認。
d)バックアップ状態の確認。

(5) 保守期間終了時に障害報告会を放射線医学総合研究所で行うこと。このときに、懸案事項について、当所の担当職員と十分な打ち合わせを行うこと。納品完了後３年間のモバイル端末接続費用について本調達に含むものとする。但し、キャリア側のサービス変更などにより当初予定していた費用よりも高額になる場合には、当研究所担当者と調整可能とする。

(6) リモートメンテナンスについて統合型被ばく関連情報管理システム管理運用手順書に準じ、当研究所担当者と打ち合わせの上、回線を接続して行うこと。

(7) 障害や災害の発生に備えて、障害発生から復旧までデータの損失が発生しないよう、関連業者との連携を図ること。

５）守秘義務

本契約の履行にあたって知り得た関連システム内のすべてのデータ及び当研究所ネットワークシステム並びにその他の情報を許可なく外部に漏らしてはならない。

５.事業者資格

本システムでは個人情報など機密性の高い情報を扱うため、セキュリティなどに十分配慮した品質の高い開発を行う必要がある。このため、本件を担当する部署もしくは法人は、以下の資格及び認証を全て取得していること。

・ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)
・ISO9001
・ISO20000
・ISO/IEC 27001
・プライバシーマーク
・CMMI レベル３以上

入札の際、上記資格を証明できるものを提出すること。

６.納入期限

平成２５年１２月２０日（金）

７.納入場所

１）被ばく関連情報管理システムのサービス機能及び認証機能の向上 １式

放射線医学総合研究所・重粒子治療推進棟 Ｂ１Ｆ サーバー室
復旧作業員対象フォローアップシステム内

２）サービスシステムドキュメント類及びその他納入成果物

放射線医学総合研究所・重粒子治療推進等２Ｆ
医療情報室

８.納入品

１）サービスシステム

①基本設計書

②詳細設計書
③プログラム　（実行形式及びソースコード）
④操作説明書
⑤システム運用・保守マニュアル

２）その他納入成果物
①実施計画書
②納入物品一覧表
③環境設計書
④機器設定手順書
⑤動作確認試験成績書
⑥運用実施計画書
⑦運用実施報告書
⑧アプリケーション保守実施計画書
⑨新サービス構築・設定手順書
⑩サービス連携モジュール
⑪検証用タブレット端末　計４式
⑫原本取り込み用スキャナ　２式
⑬接続検証用モバイル通信端末　１式

３）納入媒体、数量

文書類の納入物については、以下の媒体、数量を納入すること。なお、媒体の詳細については、実施計画書作成時に確定する。

・紙媒体　正１式、副２式（計３式）
・CD 媒体　正１式、副２式（計３式）

納入したドキュメント類に修正等があった場合には、紙については更新履歴と修正ページ、CD 媒体については、修正後の全編を速やかに提出すること。納入する CD 媒体に格納するファイル形式は一般的な文書管理ソフト等を用いて当研究所内で読み取り可能であること。

４）検収

作業完了後、当研究所検査職員立ち会いのもとに所定の検査を行い、これに合

格したことを以て検収とする。
①上記１）～３）に示す物品等がすべて納入していること。
②セットアップ完了後本調達の要件を満たしていることを確認するための動作確認試験が完了していること。
③本システムをインフラ基盤にインストール設定した後のインフラ基盤において性能テスト及び負荷テストを実施し、正常稼働及び規模・性能要件を満たしていることが確認できていること。
④システム環境のバックアップデータの取得は、動作確認試験の完了後、最新のシステム環境のバックアップデータが取得されていること。

９.著作権

本システムのために制作したアプリケーションプログラムについては、受注者の著作権を侵害しないことを条件に、取扱説明書および詳細設計書（データベーススキーマ、アプリケーション等)、ソースコードを納入すること。
納入資料の詳細は当研究所担当者と調整の上決定すること。
また、当研究所が別に作成した範囲の本システムに関する著作権は、当研究所にあること。

１０．　その他

本仕様書及び詳細仕様書に記載されている事項並びに本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、当研究所担当者と協議のうえ、決定するものとする。

部課名　重粒子医科学センター医療情報室
使用者　奥田　保男　　印

項	番号		機能
1		全体	
	1-1		使用するデータベースやOSなどは、一般的なものを使用すること。
	1-2		本調達のために作成したプログラムは、受注者の著作権を侵害しないことを条件に、取扱説明書及び詳細設計書、ソースコードを納入すること。また、放射線医学総合研究所は必要に応じてこれらを公開する権利を有すること。
	1-3		複数のベンダが協調して本システムを構築することも可能である。本機能を実現するために複数のベンダが連携して構築する場合は、保守などの窓口は1社が責任を持って担当すること。本システム構築にかかわるベンダ・グループの組織図を提示すること。
	1-4		システムの詳細仕様項目については、担当者（被ばく医療部門、医療情報室、情報基盤部、医師、研究者など）と打ち合わせを行い、決定すること。
	1-5		長期にわたる情報管理・利用のために、機器のリプレースなども考慮し、各サービスは標準的なWebサーバ環境で動作し、データベースに格納した情報は標準的な形式でエクスポート可能なこと。
	1-6		提案資料として、既存インフラを含めたシステム全体の構成案及び、サービス構成案を提出すること
2		基盤インフラ	
2.1		機能概要	
	2.1-1		既存インフラ（仕様書図1、ネットワンシステムズ社担当）上に本仕様書及び仕様詳細書に従って履行するために必要な調整などは受注者が既存契約者との間で行うこと。本調整に必要な費用は本調達に含むものとする。
	2.1-2		既存の基盤インフラ改修にかかる費用、追加で調達するハードウエア、設置、設定、運用サポートにかかる費用は本調達に含むものとする。
	2.1-3		本基盤インフラ上で「復旧作業員等健康診断情報システム」「被ばくネットワーク情報システム」「フォローアップ情報システム」の3つのサービスが実装され、動作していること。
	2.1-4		新たにサービスを追加することが可能なこと。またその手順等が示されていること。
	2.1-5		「復旧作業員等健康診断情報システム」「フォローアップ情報システム」は既存の仮想ハイパーバイザ（VMWare ESXi）上に仮想マシンとして実現すること。
	2.1-6		各サービスでデータベースを利用する場合には既存のデータベースサーバ（Oracle Databse 11g Enterprise Edition）を利用すること。
	2.1-7		複数のサービスが独立して動作し、既存のデータベースサーバー上においても互いに干渉することがないようにすること。
	2.1-8		データベースに登録されたデータを標準的な形式でエクスポートできる機能をもたせること。
	2.1-9		既存のインフラ基盤に外部接続ネットワーク（インターネット）からVPNを利用して外部からアクセスを実現すること。
	2.1-10		既存のVPN Gateway機器(Cisco ASA)を使用して、SSL-VPN接続ができる設定を行うこと。
	2.1-11		ユーザ管理機能として、ユーザの管理を行う画面を用意し、ユーザの追加、削除、権限管理が行えること。
	2.1-12		SSL-VPN接続には既存インフラで提供されるCisco AnyConnect Secure Mobility Clientを使用すること。
	2.1-13		サーバへの接続を既存内部Proxyサーバ(IronPort WSA)を経由する設定を行うこと。
	2.1-14		内部ProxyサーバはAnyConnect Secure Mobolity機能を使用してユーザ認証連携をうこと。
	2.1-15		内部Proxyサーバはユーザの所属グループを識別し、接続先に対する適切なアクセス制御をおこなうこと。
	2.1-16		内部Proxyサーバはユーザの所属グループを既存の認証サーバからLDAPを用いて識別すること。
	2.1-17		内部Proxyサーバは構築するWebシステムへの接続時認証にSAML2.0を用いたシングルサインオンを実現すること。
	2.1-18		SAML1.0の混在も可能だが、SAML2.0のサービスと情報交換をするための変換機能を用意すること。
	2.1-19		SAMLに記述するユーザ認証・属性情報等は、担当者と協議の上決定・実装すること。
	2.1-20		ログイン日時、操作履歴などについてのログを指定した場所にファイルとして取得できること。
	2.1-21		ユーザの名前や所属、住所など個人情報の変更に対応できること。システム上の情報は上書き更新せず、変更後の個人情報を個人に追加で紐づけて一連性を持った管理を行えること。
	2.1-22		インフラ基盤及び各サービス及びデータベースを運用するサーバーにセキュリティ対策、脆弱性対策、ウイルス対策を施すこと。パターンファイルの配布はオンライン又はオフラインで可能なこと。
	2.1-23		既に導入されているVMWare Data Recoveryを利用して各サービスのデータベース及びシステムを毎日ローカルでバックアップを行うこと。
	2.1-24		各サービスに連結可能匿名化の機能を持たせること。
	2.1-25		連結可能匿名化及び名寄せ機能について、IHE PIX/PDQに準拠すること。
	2.1-26		機関ごとのみならず、同一機関においても提供機会ごとにデータの提供形式が変わる可能性が十分考えられるため、それらの提供データ形式に柔軟に対応した入力を行えること。
	2.1-27		協力機関から提供された原本を電子媒体として保管できる仕組みを有すること。紙媒体で提供された場合にはPDFなど標準的なフォーマットで電子化して検索可能な形で保存すること。スキャナなど紙媒体を電子的に取り込む装置の調達については本調達の範囲とする。
	2.1-28		紙媒体原本読み取り装置はオートシートフィーダを備え、自動で両面読み込みが出来ること。600dpi以上でA3サイズまで読み取り可能なこと。
	2.1-29		長期にわたる情報収集のため、データ項目の表記や内容が制度や政令、その他の事情によって変わる可能性を考慮し、データの標準化をおこなって矛盾なく表示できる機能を有すること。
	2.1-30		管理項目の変動の可能性を十分に考慮し、調査項目や情報提供項目が変更・増加しても柔軟に対応できること。
3		サービス機能	
	3-1		各サービスはWebアプリケーションあるいはWebサービスとして実装されていること。
	3-2		各サービスで使用するDBのスキーマは放医研担当者と協議の上決めること
	3-3		利用者が当該システムへアクセスする際に十分配慮した操作性となっていること
3.1		認証	
	3.1-1		ID/パスワード認証に対応すること
	3.1-2		シングルサインオンに対応すること
	3.1-3		SAML2.0に対応すること
	3.1-4		利用者によりアクセス制御を行えること

項	番号		機能
3.2		メニュー	
	3.2-1		利用者により表示するメニューを制御すること
3.3		利用者情報管理	
	3.3-1		本機能はシステム管理者のみが利用できること
	3.3-2		利用者情報は各認証機能で有する利用者情報と連携すること
	3.3-3		入力ミスを防ぐための入力エラーチェックを行うこと
	3.3-4		利用者の名前、所属、住所など個人情報の変更については追加で紐付け一連性を持った管理が出来ること
	3.3-5		更新履歴が確認できること
	3.3-6		利用者情報の検索機能を有すること
	3.3-7		検索条件を指定できること
	3.3-8		検索結果の一覧を表示できること
	3.3-9		検索結果一覧から更新機能、削除機能を呼び出せること
	3.3-10		利用者情報の新規登録機能を有すること
	3.3-11		権限設定が行えること
	3.3-12		利用者情報の更新機能を有すること
	3.3-13		権限設定が行えること
	3.3-14		利用者情報の削除機能を有すること
3.4		お知らせ情報管理	復旧作業員健康診断情報サービス、フォローアップ情報サービスで表示する
	3.4-1		本機能はシステム管理者および権限付与された利用者のみが利用できること
	3.4-2		利用権限は登録・更新権限、参照権限の2区分を設けること
	3.4-3		お知らせ情報は各機関向けに発行できること
	3.4-4		入力ミスを防ぐための入力エラーチェックを行うこと
	3.4-5		お知らせ情報の公開期間を設定できること
	3.4-6		お知らせ情報の公開先を設定できること
	3.4-7		お知らせ情報の検索機能を有すること
	3.4-8		検索条件を指定できること
	3.4-9		検索結果の一覧を表示できること
	3.4-10		検索結果一覧から更新機能、削除機能を呼び出せること
	3.4-11		お知らせ情報の新規登録機能を有すること
	3.4-12		権限設定が行えること
	3.4-13		お知らせ情報の更新機能を有すること
3.5		復旧作業員情報管理機能	復旧作業員の緊急時作業情報を扱う
	3.5-1		本機能はシステム管理者および権限付与された利用者のみが利用できること
	3.5-2		利用権限は登録・更新権限、参照権限の2区分を設けること
	3.5-3		入力ミスを防ぐための入力エラーチェックを行うこと
	3.5-4		復旧作業員情報は同一個人のデータの関連付けができるようにすること
	3.5-5		復旧作業員情報の検索機能を有すること
	3.5-6		検索条件を指定できること
	3.5-7		検索結果の一覧を表示できること
	3.5-8		検索結果一覧から更新機能、削除機能を呼び出せること
	3.5-9		復旧作業員情報の新規登録機能を有すること
	3.5-10		復旧作業員情報の更新機能を有すること
	3.5-11		復旧作業員情報の削除機能を有すること
3.6		フォローアップ対象者情報管理機能	
	3.6-1		本機能はシステム管理者および権限付与された利用者のみが利用できること
	3.6-2		利用権限は登録・更新権限、参照権限の2区分を設けること
	3.6-3		入力ミスを防ぐための入力エラーチェックを行うこと
	3.6-4		フォローアップ対象者情報は、同一個人のデータの関連付けができるようにすること
	3.6-5		フォローアップ対象者情報の検索機能を有すること
	3.6-6		検索条件を指定できること
	3.6-7		検索結果の一覧を表示できること
	3.6-8		検索結果一覧から更新機能、削除機能を呼び出せること
	3.6-9		フォローアップ対象者情報の新規登録機能を有すること
	3.6-10		フォローアップ対象者情報の更新機能を有すること
	3.6-11		フォローアップ対象者情報の削除機能を有すること
3.7		被ばくネットワークユーザ情報管理機	
	3.7-1		本機能はシステム管理者および権限付与された利用者のみが利用できること
	3.7-2		利用権限は登録・更新権限、参照権限、export権限の3区分を設けること
	3.7-3		入力ミスを防ぐための入力エラーチェックを行うこと
	3.7-4		被ばくネットワークユーザ情報は同一個人のデータの関連付けができるようにすること
	3.7-5		被ばくネットワークユーザ情報の検索機能を有すること
	3.7-6		検索条件を指定できること
	3.7-7		検索結果の一覧を表示できること
	3.7-8		検索結果一覧から更新機能、削除機能を呼び出せること
	3.7-9		被ばくネットワークユーザ情報の新規登録機能を有すること
	3.7-10		被ばくネットワークユーザ情報の更新機能を有すること
	3.7-11		被ばくネットワークユーザ情報の削除機能を有すること
3.8		健康診断情報管理機能	
	3.8-1		本機能はシステム管理者および権限付与された利用者のみが利用できること
	3.8-2		利用権限は登録・更新権限、参照権限、export権限の3区分を設けること
	3.8-3		入力ミスを防ぐための入力エラーチェックを行うこと
	3.8-4		健診情報は一般的な検診項目の他に、電離放射線健診項目、生活習慣や病歴に関わる項目を含む
	3.8-5		健康診断情報は同一個人のデータの関連付けができるようにすること
	3.8-6		健康診断情報の検索機能を有すること
	3.8-7		検索条件を指定できること
	3.8-8		検索結果の一覧を表示できること
	3.8-9		検索結果一覧から更新機能、削除機能を呼び出せること
	3.8-10		健康診断情報の新規登録機能を有すること
	3.8-11		健康診断情報の更新機能を有すること
	3.8-12		健康診断情報の削除機能を有すること
3.9		情報提供機能＜研究者＞	
	3.9-1		対象情報を選択できること
	3.9-2		対象情報を条件付で検索できること
	3.9-3		一覧表示できること
	3.9-4		一覧表示項目から選択した情報の詳細内容が確認できること
	3.9-5		検索結果をCSV形式で出力できること
3.10		情報提供機能＜対象者＞	
	3.10-1		対象者自身の情報が一覧表示できること
	3.10-2		一覧表示項目から選択した情報の詳細内容が確認できること
	3.10-3		放医研からのお知らせ情報を参照できること
3.1		情報提供機能＜関係機関＞	
	3.11-1		対象情報を選択できること
	3.11-2		対象情報を条件付で検索できること
	3.11-3		放医研が指定する項目を一覧表示できること
	3.11-4		一覧表示項目から選択した情報の詳細内容が確認できること
	3.11-5		放医研からのお知らせ情報を参照できること
3.1		名寄せ機能	
	3.12-1		連結可能匿名化に対応していること
	3.12-2		IHE PIX/PDQに準拠していること

項	番号		機能
	3.12-3		検索条件にて対象者を絞り込み、対象者を選択できること
	3.12-4		選択した対象者と関連付けできる個人を選択できること
	3.12-5		関連付けを確定できること
	3.12-6		関連付けを修正できること
3.1		原本データ管理機能（電子データ、	
	3.13-1		本機能はシステム管理者および権限付与された利用者のみが利用できること
	3.13-2		復旧作業員の情報について紙データを電子化（PDF形式）した情報をファイルとして取り込む機能を有すること。紙データ以外のExcel、CSV形式の電子データからのデータも対象とすること
	3.13-3		対象データとの関連付けのための管理番号が付与できること。
	3.13-4		原本データ情報の新規登録機能を有すること
	3.13-5		原本データ情報の削除機能を有すること
3.1		一括登録機能	
	3.14-1		各情報毎に一括登録できる機能を有すること
	3.14-2		一括登録する際にデータチェックを行い不整合となるデータを取り込めないようにすること
	3.14-3		不正データはエラー情報として確認できること
	3.14-4		一括登録結果を確認できること
	3.14-5		一括登録は一旦ワーク領域に格納し最終的に本登録した場合のみ正規のデータベースに格納する
	3.14-6		一括取込用ファイルの選択とアップロードができること
	3.14-8		アップロード結果を確認できること
	3.14-9		一括登録時のエラー情報をDB登録前に確認できること
	3.14-		対象データを本登録できること
	3.14-		本登録前は取消しができること
	3.14-12		データ入力、閲覧機能はPCからブラウザでアクセス可能とし、対応するブラウザはInternetExplorerの最新バージョンを含むこと。タブレット型端末からはWebKitエンジンを用いた標準ブラウザから閲覧が可能なこと。この他に上記を含めて契約締結時における国内バージョン別ブラウザシェアの上位5位までのシェアあるいは上位から85%をカバーする各ブラウザ及びバージョンのシェアのいずれか多い方に含まれる全てのバージョンのブラウザに対応することが望ましい。
4		既存システム移設	
4.1		被ばくネットワークシステム	放医研内で稼働中の医療被ばく管理システムを復旧作業員などのフォローアップシステムへ移設する。
	4.1-1		放医研内に導入されている医療被ばく管理サーバ（ケアストリーム社担当）を既存インフラに接続し、適切にVLANを設定してアクセス制御が行えるよう接続、設定すること。
	4.1-2		外部からのアクセスを十分なセキュリティを保ちつつ実現すること。
4.2		eThority	放医研内で稼働中のビジネスインテリジェンスツールを本インフラで利用可能にする。
	4.2-1		復旧作業員DBと接続してビジネスインテリジェンスの表示ができること
5		設定情報提供	
	5-1		放医研が新たにサービスを構築するために必要となる設定や手順などをドキュメントとして提供すること。
	5-2		ユーザ管理やSAML認証など他のサービスと連携に必要となるソフトウエアモジュールを提供すること。
6		導入・設置	
	6-1		本調達におけるハードウエア及びソフトウエアの導入・設置の為に必要な作業にかかる費用は全て本調達に含むものとする。
7		試験用端末	
	7-1		外部ネットワークからの接続試験に使用するモバイル通信端末および接続費用は本調達に含めるものとする。
	7-2		試験用モバイル通信端末はLTE通信規格で通信しUE Category4以上に対応していること。また月10GBまでは通信速度などの制限を受けないこと。
	7-3		試験用モバイル通信端末はUSB接続及びWi-Fi接続によりPCあるいはタブレット端末と接続し、通信を行うことが出来ること。Wi-Fi接続は同時に10台以上接続可能なこと。
	7-4		PC環境からの接続及び各サービス動作検証のために検証用のタブレット端末にかかる費用も本調達に含むものとする。
	7-5		検証用タブレット端末は32GB以上のメモリを搭載し、画面サイズがおよそ8インチとおよそ10インチのものを其々2式。但し、契約締結時におけるタブレット型端末によるインターネット上のウェブトラフィックの50%以上を占めるプラットフォームの端末であること。Wi-Fi接続で7-2のモバイル通信端末を通じてインターネットとの接続が行えること。
	7-6		検証用タブレット端末については、モニタの品質管理が行えること。標準で機能が用意されていない場合、モニタの品質管理を行うソフトウエアを導入すること。
	7-7		上記品質管理アプリケーションは、簡単な手順で実施でき、容易に視覚テストが実施できる機能を有すること。
	7-8		上記品質管理アプリケーションは、Safariを使用するタイプのビューワーアプリケーションとiPadにインストールするタイプのビューワーアプリケーションの両方に対応できること。
8		保守・運用	
	8-1		導入後保守費用について、納品物の全てについて平成26年3月までの保守費用を本調達に含むものとする。
	8-2		納品ソフトウエア障害発生時における障害原因調査及びバグ修正作業を行い、問題発生日から2ケ月以内に対応すること。
	8-3		オンサイトでの作業が必要な場合には、現地に作業員を派遣すること。
	8-4		オンサイト業務を行うに当たっては、年間150時間までの作業については、当該保守契約に含めること。
	8-5		累積時間の管理、障害報告内容については担当者に報告・確認すること。
	8-6		当研究所がネットワーク上のシステムの適正な運用を維持するために毎週1回開催しているネットワーク調整会合に少なくとも月1回（原則として第1月曜日）、必要な場合にはその都度出席すること。
	8-7		調整会合への参加が困難な場合は、事前に担当者へ報告をおこなうこと。
	8-8		出席のためにかかる費用は、本契約に含まれる.
	8-9		定期オンサイトメンテナンス業務として2ケ月に1回現地での定期メンテナンス作業を行うこと。その際、作業内容に関する報告書を作成し、本研究所担当者へ提出すること。
	8-10		定期メンテナンス業務はとしてa)LED等、外部から目視でハードウエア状態確認。b)納入ハードウエアエラーログ、ログ確認。c)納入ハードウエアのディスク使用量確認。d)バックアップテープの交換。（テープの場合）e)バックアップ状態の確認を行うこと。
	8-11		年に4回（6月、9月、12月、3月）に障害報告会を放射線医学総合研究所で行うこと。このときに、懸案事項について、当所の担当職員と十分な打ち合わせを行うこと。

項	番号		機能
	8-12		契約締結後3年間のモバイル端末接続費用について本調達に含むものとする。但し、キャリア側のサービス変更などにより当初予定していた費用よりも高額になる場合には、放医研担当者と調整可能とする。
	8-13		リモートメンテナンスについて、運用手順書に準じ、放医研担当者と打ち合わせの上、回線を接続して行うこと。
	8-14		障害や災害の発生に備えて、障害発生から復旧までデータの損失が発生しないよう関連業者との連携をはかること。またその体制図や手順書を提出すること
9		その他	
	9-1		設計・開発・データ移行等のシステム構築スケジュールが実現可能なスケジュールになっていること。
	9-2		本システムを提案するに当たり要因構成を提出るすること。提案に当たり以下の要件がわかるようにすること。
	9-3		本システム構築プロジェクトを管理する統括責任者または統括責任者を補佐する立場の参画者が、Web/DBアプリケーションシステムのプロジェクト管理及び実施の経験を5年以上有すること。

添付資料 B

復旧作業員等健康診断情報システム入力項目

本調達の復旧作業員等健康診断情報システムで想定している入力項目は下記の通りである。但し、これらの項目や内容については現時点において当方で考えているものであり、変更される可能性があるため、導入時には放医研担当者と打ち合わせの上決定すること。

１．個人情報

項目番号	項目	例	備考
1-1	事業所等での個人番号	1234567	
1-2	氏名	放医研 太郎	
1-3	フリガナ	ホウイケン タロウ	
1-4	生年月日	昭和 40 年 1 月 1 日	
1-5	性別	男	
1-6	現住所	千葉市稲毛区穴川 4-9-1	
1-7	連絡先	043-251-○○○○	電話番号
1-8	現在の所属	放射線医学総合研究所病院	
1-9	現在の所属の連絡先	043-206-○○○○	

２．緊急作業や復旧作業に関する情報

項目番号	項目	例	備考
2-1	事業所等での個人番号	1234567	
2-2	氏名	放医研 太郎	
2-3	フリガナ	ホウイケン タロウ	
2-4	生年月日	昭和 40 年 1 月 1 日	
2-5	性別	男	男、女
2-6	***放射線以外の有害業務への従事歴***	有り（水銀）	
2-7	緊急作業従事前の被ばく線量		累積実効線量
2-8	現住所		
2-9	電話番号		
2-10	放射線影響協会中央登録センターの登録番号	54321	ある場合
2-11	緊急作業時の所属事業場の名称	放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター	
2-12	緊急作業時の所属事業場の所在地	放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター	
2-13	緊急作業時の所属事業場の連絡先	043-251-2111	
2-14	現在の所属事業場の名称	放射線医学総合研究	

		所病院	
2-15	現在の所属事業場の所在地		
2-16	現在の所属事業場の連絡先		
2-17	対象期間		○年○月分
2-18	*作業開始日*		
2-19	*作業終了日*		
2-20	*作業日数*		上記の作業について2011年12月末日までに従事した日数
2-21	外部被ばく実効線量		mSv
2-22	*外部被ばく個人線量計の種類*		
2-23	*外部被ばく線量の評価方法*		個人線量計装着、他の作業員の個人線量を代用、環境測定データからの推測、その他（　）から選択
2-24	眼の水晶体の等価線量		mSv
2-25	*水晶体線量の評価方法*		
2-26	皮膚の等価線量		mSv
2-27	*皮膚線量の評価方法*		
2-28	内部被ばく預託実効線量		
2-29	*預託実効線量の評価方法*		
2-30	*甲状腺の預託等価線量*		
2-31	*甲状腺預託等価線量の評価方法*		
2-32	内部被ばく測定日		
2-33	摂取日		
2-34	内部被ばく測定核種1		
2-35	計測値1		
2-36	内部被ばく測定核種2		
2-37	計測値2		
2-38	内部被ばく測定核種3		
2-39	計測値3		
2-40	内部被ばく測定核種4		
2-41	計測値4		
2-42	内部被ばく測定核種5		
2-43	計測値5		
2-44	*内部被ばく計測実施機関*		
2-45	通常・緊急作業の区別		
2-47	作業の場所		××市区町村○○町まで
2-48	作業内容		消火、捜索、輸送、建築、がれき撤去、警備、避難誘導、測定、診療、一時帰宅立会、除染、その他（　）から選択
2-49	安定ヨウ素剤の服用量		なし、量を記述
2-50	安定ヨウ素剤の服用時期		
2-51	*東電福島第一原発敷地内での作*		

	業の有無		
2-52	*警戒区域内での作業の有無*		
2-53	*防護衣および防護マスクの着用有無*		
2-54	外部被ばく測定開始日時 1		該当月の日々の測定について
2-55	外部被ばく測定終了日時 1		該当月の日々の測定について
2-56	外部被ばく実効線量 1		該当月の日々の測定について
2-57	外部被ばく測定開始日時 2		該当月の日々の測定について
2-58	外部被ばく測定終了日時 2		該当月の日々の測定について
2-59	外部被ばく実効線量 2		該当月の日々の測定について
2-60	外部被ばく測定開始日時 3		該当月の日々の測定について
2-61	外部被ばく測定終了日時 3		該当月の日々の測定について
2-62	外部被ばく実効線量 3		該当月の日々の測定について
2-63	外部被ばく測定開始日時 4		該当月の日々の測定について
2-64	外部被ばく測定終了日時 4		該当月の日々の測定について
2-65	外部被ばく実効線量 4		該当月の日々の測定について
2-66	外部被ばく測定開始日時 5		該当月の日々の測定について
2-67	外部被ばく測定終了日時 5		該当月の日々の測定について
2-68	外部被ばく実効線量 5		該当月の日々の測定について
・	・		
・	・		
・	・		

３．一般健康診断に関する情報

項目番号	項目	例	備考
3-1	事業所等での個人番号		
3-2	氏名		
3-3	フリガナ		
3-4	生年月日		
3-5	性別		
3-6	健診実施日		○年○月○日
3-7	健診等の種類		一般健診、雇用時健診等の別
3-8	健診を実施した施設・医師		各施設での正常値も別途報告
3-9	既往歴 ***（悪性疾患）***		
3-10	既往歴 ***（その他）***		
3-11	***家族歴（悪性疾患）***		
3-12	***家族歴（高血圧、糖尿病、その他）***		
3-13	飲酒状況		現在飲酒、過去飲酒、非飲酒
3-14	飲酒開始年齢		歳
3-15	飲酒終了年齢		歳
3-16	１日飲酒量（日本酒換算）		mL
3-17	喫煙状況		現在喫煙、過去喫煙、非喫煙
3-18	喫煙開始年齢		歳
3-19	喫煙終了年齢		歳
3-20	自覚症状		ありまたはなし。ありの場合は症状を記述
3-21	他覚症状		ありまたはなし。ありの場合は症状を記述。
3-22	医師の診断・意見		
3-23	意見を述べた医師		
3-24	身長		cm
3-25	体重		kg
3-26	腹囲		cm
3-27	視力（右）		裸眼視力(矯正視力)。
3-28	視力（左）		裸眼視力(矯正視力)。
3-29	聴力 1000Hz（右）		所見なし、所見あり
3-30	聴力 1000Hz（左）		所見なし、所見あり
3-31	聴力 4000Hz（右）		所見なし、所見あり
3-32	聴力 4000Hz（左）		所見なし、所見あり
3-33	聴力検査方法		オージオ、その他
3-34	胸部Ｘ線検査方法		直接、間接
3-35	胸部Ｘ線撮影年月日		○年○月○日
3-36	胸部Ｘ線検査結果		異常なし、所見記述
3-37	喀痰検査		異常なし、所見記述
3-38	血圧（収縮期）		mmHg

3-39	血圧（拡張期）		mmHg
3-40	赤血球数		万/mm^3
3-41	血色素量		g/dL
3-42	ヘマトクリット		%
3-43	血小板数		万/mm^3
3-44	GOT (AST)		IU/L
3-45	GPT (ALT)		IU/L
3-46	γ-GTP		IU/L
3-47	総コレステロール		mg/dL
3-48	HDL コレステロール		mg/dL
3-49	LDL コレステロール		mg/dL
3-50	トリグリセライド		mg/dL
3-51	血糖		mg/dL
3-52	HbA1c		%
3-53	尿糖		-, +, ++, +++
3-54	尿蛋白		-, +, ++, +++
3-55	尿潜血		-, +, ++, +++
3-56	心電図		所見

４．電離放射線健康診断および臨時健康診断に関する情報

項目番号	項目	例	備考
4-1	事業所等での個人番号		
4-2	氏名		
4-3	フリガナ		
4-4	生年月日		
4-5	性別		
4-6	健診実施年月日		
＜白血球＞			
4-7	白血球数		個/ mm^3
4-8	リンパ球		%
4-9	単球		%
4-10	異型リンパ球		%
4-11	好中球棹状核		%
4-12	好中球分葉核		%
4-13	好酸球		%
4-14	好塩基球		%
4-15	赤血球数		万/ mm^3
4-16	血色素量		g/dL
4-17	ヘマトクリット		%
4-18	その他		%
＜眼（白内障）＞			
4-19	*検査方法*		
4-20	水晶体の混濁		あり、なし
＜皮膚＞			
4-21	発赤		あり、なし
4-22	乾燥または縦じわ		あり、なし
4-23	潰瘍		あり、なし

4-24	爪の異常		あり、なし
＜その他＞			
4-25	全体的所見		
4-26	自覚症状		
4-27	参考事項		
4-28	医師の診断		異常なし、要精密検査、要治療、それらの内容
4-29	健診を実施した施設・医師		
4-30	医師の意見		
4-31	意見を述べた医師の氏名		

５．その他の検査結果等に関する情報

項目番号	項目	例	備考
5-1	検査等の種類		その他の検査、健康相談、がん検診等
5-2	事業所等での個人番号		
5-3	氏名		
5-4	フリガナ		
5-5	生年月日		
5-6	検査実施年月日		
5-7	白内障検査方法		
5-8	眼の所見		
5-9	皮膚の所見		
＜甲状腺＞			
5-10	TSH		
5-11	FT3		
5-12	FT4		
5-13	TRAb		
5-14	MCPA		
5-15	抗 TPO 抗体		
5-16	TgAb		
5-17	甲状腺超音波		
＜上部消化管（胃）＞			
5-18	胃Ｘ線透視		
5-19	胃内視鏡		
5-20	ピロリ菌		
5-21	ペプシノゲン 1		ng/mL
5-22	ペプシノゲン 2		ng/mL
5-23	ペプシノゲン 1/2 比		
＜下部消化管（大腸）＞			
5-24	便潜血		
5-25	大腸Ｘ線透視		
5-26	大腸内視鏡		
＜CT・MRI 等＞			
5-27	頭部・頚部		
5-28	胸部		

5-29	腹部		
5-30	その他の部位		
＜その他＞			
5-31	HBsAg		
5-32	HBsAb		
5-33	HBcAb		
5-34	HBeAg		
5-35	HBeAb		
5-36	HCV Ab		
5-37	高感度 CRP		mg/dL
5-38	医師の診断所見		
5-39	健康相談・保健指導の記事		

※上記の１～５の項目は基本的に厚労省と同一の項目であるが、斜体の項目は厚労省のデータベースに含まれていないことを示す。

添付資料 C

フォローアップシステム入力項目

本調達のフォローアップシステムで想定している入力項目は下記の通りである。但し、これらの項目や内容については現時点において当方で考えているものであり、変更される可能性があるため、導入時には放医研担当者と打ち合わせの上決定すること。

ROGAD 基本 DB と JCPT 基本項目

●黄色 : JCPT 基本項目（登録時）、橙色 : JCPT 基本項目（フォローアップ時）

NO	大　項　目	小　項　目	説　　明
1	患者 ID		
1-1		JNCDB ID	
1-2		施設名	
1-3		施設コード	
1-4		記載者氏名	
1-5		院内番号	施設において患者を識別するための，1 患者 1 件の不変コード。提出時に匿名化する
1-6		患者氏名（漢字）	氏名を全角漢字でテキスト入力。姓と名の間に全角スペースを置く
1-7		患者氏名（カナ）	氏名を全角フリガナでテキスト入力。姓と名の間に全角スペースを置く
1-8		生年月日	形式: [YYYY/MM/DD]
1-9		性別	
1-10		診断時郵便番号	
1-11		診断時都道府県コード	[01 北海道], [02 青森県], [03 岩手県], [04 宮城県], [05 秋田県], [06 山形県], [07 福島県], [08 茨城県], [09 栃木県], [10 群馬県], [11 埼玉県], [12 千葉県], [13 東京都], [14 神奈川県], [15 新潟県], [16 富山県], [17 石川県], [18 福井県], [19 山梨県], [20 長野県], [21 岐阜県], [22 静岡県], [23 愛知県], [24 三重県], [25 滋賀県], [26 京都府], [27 大阪府], [28 兵庫県], [29 奈良県], [30 和歌山県], [31 鳥取県], [32 島根県], [33 岡山県], [34 広島県], [35 山口県], [36 徳島県], [37 香川県], [38 愛媛県], [39 高知県], [40 福岡県], [41 佐賀県], [42 長崎県], [43 熊本県], [44 大分県], [45 宮崎県], [46 鹿児島県], [47 沖縄県], [88 その他（外国）], [99 不詳]
1-12		診断時住所	
2	今回の治療		[1 新鮮], [2 再発], [3 遠隔転移], [4 再発+転移], [8 その他], [9 不明]
3	診断		
3-1		原発部位名	
3-2		原発部位コード	ICD-O 第 3 版
3-3		病理組織名	
3-4		病理組織コード	ICD-O 第 3 版
3-5		UICC CPR	[c], [p], [r], [y], [yc], [yp], [yr],「その他」

3-6		T	
3-7		N	
3-8		M	
3-9		G	
3-10		STAGE	[0], [1], [1A], [1B], [1C], [2], [2A], [2B], [2C], [3], [3A], [3B], [3C], [4], [4A], [4B], [4C], [X], 「その他」
3-11		開始時 PS	[0 すべて正常に制限なく行動できる。] [1 激しい運動は制限されるが歩行や軽い仕事はできる。] [2 歩行や身の回りのことはできるが、どんな仕事も覚醒時間の 50%以上はできない。] [3 制限された身の回りのことしかできず、覚醒時間の 50%以上は臥床あるいは椅子に坐っている。] [4 完全に身の回りのことができず、全日臥床あるいは椅子に坐っている。]
3-12		重複癌	[DC0], [DC2], [DC3], [DC4], [DC5]
3-13		重複癌部位名	
3-14		重複癌部位コード	ICD-O 第 3 版
4	治療方針		[1 対症], [2 姑息], [3 準根治], [4 根治], [8 その他], [9 不明]
5	治療方法		[1 手術], [2 照射], [3 手術+照射], [4 化療], [5 温熱/BRM], [6 化療+照射], [7 手術+化療+照射], [0 照射+温熱/BRM], [8 その他], [9 不明]
6	照射方針		[1 対症], [2 姑息], [3 準根治], [4 根治], [5 術前], [6 術後], [0 術中], [7 予防], [8 その他], [9 不明]
7	外来・入院の区分		[1 外来], [2 入院], [3 その他], [4 不明]
8	外部照射		
8-1		外部照射カテゴリー	[1 原発巣], [2 所属リンパ節], [3 遠隔転移], [4 原発+リンパ], [5 原発+転移], [6 転移+リンパ], [7 原発+転移+リンパ], [8 その他], [9 不明]
8-2		外部照射部位名	
8-3		外部照射部位コード	ICD-O 第 3 版
8-4		照射開始日	形式: [YYYY/MM/DD]
8-5		線種	[1 Photon], [2 Electron], [3 Proton], [4 Carbon], [9 不明], [その他]
8-6		エネルギー	
8-7		単位	[MV], [MeV], [MeV/n], [その他]
8-8		投与線量（cGy)	
8-9		分割回数	
8-10		照射日数	
9	小線源治療	－略－	

10	放射線治療完遂度		[1 予定治療完遂], [2 8 日以上の中断あり], [5 予定の 50%未満で中止], [6 予定の 50%以上で中止], [7 遂行程度不詳で中止], [8 その他], [9 不明]
11	治療効果		
11-1		一次効果	[1 CR], [2 PR], [3 NC], [4 PD], [5 症状改善あり], [6 症状改善なし], [7 評価できる病巣なし], [8 その他], [9 不明]
11-2		終了時 PS	[0 すべて正常に制限なく行動できる。] [1 激しい運動は制限されるが歩行や軽い仕事はできる。] [2 歩行や身の回りのことはできるが、どんな仕事も覚醒時間の 50%以上はできない。] [3 制限された身の回りのことしかできず、覚醒時間の 50%以上は臥床あるいは椅子に坐っている。] [4 完全に身の回りのことができず、全日臥床あるいは椅子に坐っている。]
		一次効果判定日？	
12	再発		
12-1		再発の有無	[1 なし], [2 あり], [9 不明]
12-2		再発確認日	形式: [YYYY/MM/DD]
12-3		再発部位	[1 局所], [2 所属リンパ節], [3 遠隔転移], [4 局所+所属リンパ節], [5 局所+遠隔転移], [6 所属リンパ節+遠隔転移], [7 局所+所属リンパ節+遠隔転移], [9 不明]
12-4		再発部位詳細	
13	有害事象		
13-1		有害事象の有無	[1 なし], [2 あり], [9 不明]
13-2		有害事象確認日	形式: [YYYY/MM/DD]
13-3		有害事象発生部位	テキスト入力
13-4		グレード	[1 Grade1], [2 Grade2], [3 Grade3], [4 Grade4], [5 Grade5], [9 不明], [その他]
14	二次発がん		
14-1		二次発がんの有無	[1 なし], [2 あり], [9 不明]
14-2		二次発がん確認日	形式: [YYYY/MM/DD]
14-3		二次発がん部位名	テキスト入力
14-4		二次発がん部位コード	ICD-O 第 3 版
15	転帰		
15-1		生死の状況	[1 非担癌生存], [2 担癌生存], [3 担癌不詳生存], [4 原癌死], [5 他病死], [6 他癌死], [8 不明死], [9 消息不明]
15-2		最終追跡日	形式: [YYYY/MM/DD]

15-3		コメント	テキスト入力